※文字の大きさは Meiryo UI ／12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、（写真 1）（表 1）などと文中に記載し、右ページに（写真 1）（表 1）などと表記の上、貼り付けてください。
※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
※いずれの場合も、必ずＡ３片面１枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは５MB 以下としてください。

※事務局記入欄
No. D-108

【様式２】

部門名：
校内研修プログラム開発・実践部門

エントリー名：
寝屋川市立石津小学校

活動名：
エビデンスに基づいた研修
同僚性を発揮するための校内組織

解決すべき課題：

新学習指導要領の完全実施に向けて求められている資質・能力を育成するための校内課題や教員個々人の課題に対応するための校内研修の実施。そのために、1.全国学力・学習状況調査を指標として分析したデータから児童把握を行い、校内全体として必要な改善点や視点を明確化上で、教員個々人が自身の課題を受け止め改善すること。さらには、2.実践の評価検証やデーターの収集方法を開発して、エビデンスを持って児童把握を行うこと、3.積み上げてきた[算数科]を柱として研修をすすめ、それを他教科へも一般化していくこと
最後に4.教育課程の構成つまり校内カリキュラムマネジメントを確立すること 5.校内全員の校内研修への参加の質を高め、喫緊の課題にも（道徳教育・外国語・プログラミング教育）対応することもできる組織をつくること

目標・方針

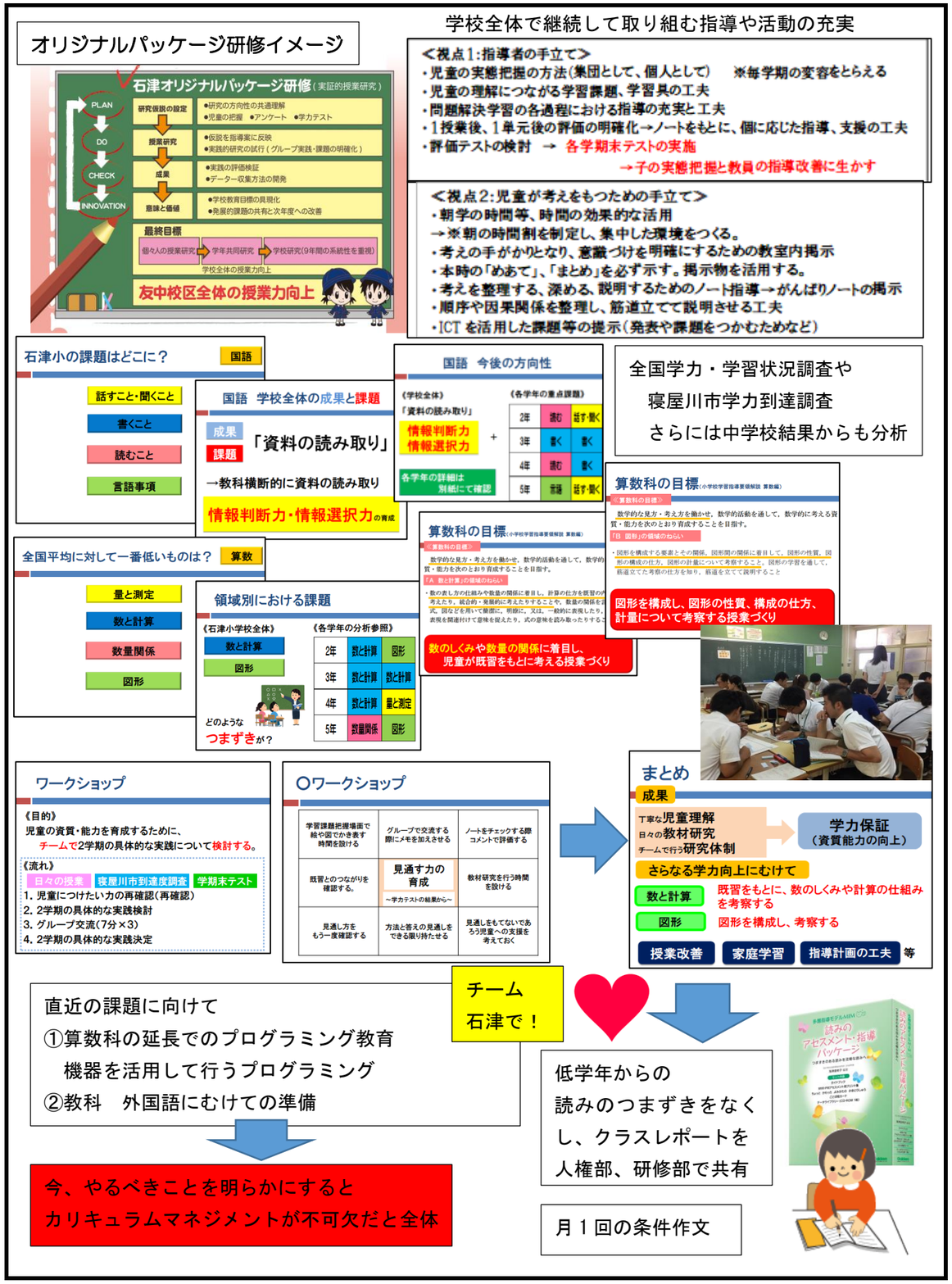
算数科の目指すべき児童の力・姿に到達するための授業改善の重点項目を明確化。さらには、算数にとどまらず、カリキュラムマネジメントの視点から、その課題を他の教科領域で取り組めることないかを決定。教員も6 年間を意識するために、学年の壁を越えたグループにて校内研修を進める組織を構成。年間の予定をバックワードから計画をする。そして、石津オリジナルパッケージプランに基づいて研修を進めていく

活動内容：

1.自校の課題、前年度の反省を踏まえたテーマ年間計画の作成 2.教員の縦割り部会編成 3.人権部と児童の実態把握とその共有 4.算数科の研修：研修の基盤として①問題解決学習の展開②考えを深め学び合うための言語活動の充実③学校全体で継続して取り組む指導や活動の充実 5.言語活動をさらに充実させるために研修部と人権部との協働による低学年児童の言語能力の把握、多層モデル MIM の実施、言語活動として校内全体での条件作文の実施 6.評価検証、データー収集方法の決定と評価テストの作成 7.校内研修ルーブリック作成 8 .直近の課題対応（自校の目指す方向性をふまえて）

活動の成果：

児童の姿：本校が成果指標の一つにかかげている全国学力・学習状況調査においては全国平均より約 10 ポイント近く向上している。特に、無回答率はほぼ 0 に近く、学びに向かう力の育成が軌道にのりつつあると考えている。
教員の姿：教員自身の活動の評価指標である校内ルーブリックでは自身の授業力、指導力を客観し、改善していこうとする姿が見られた。また、自分自身の児童に対する実感は大切にしつつも、目の前のエビデンスで主観に左右されない校内の取り組みが実現し、質の向上が図られた。さらに、同僚性の高まりとともに、10 分程度の確認や会議が行われるようになり、働き方改革のヒントが生まれた。加えて、小学校 6 年間や中学校も含む 9 年間という俯瞰力が身についてきている

アピールポイント（アイディアや工夫）：

1.教員による縦割り部会での授業研修会の実現 2.教科研修の枠を超えて、人権部会と協働する児童の実態把握 3.自校研修のオリジナルパッケージプラン作成 4.多岐にわたる教育課題に対応することのできる校内組織 5.エビデンスを活用した研修そすすめるための評価検証からのバックワードからの計画力向上（短時間での会議から、働き方改革の促進/スタンディングミーティング）